【様式2-3】　　　　　　　　　ア セ ス メ ン ト 票 （様式例）

作成日：令和　　年　　月　　日

作成者：

|  |  |
| --- | --- |
| ケース　＜Ａ＞ | 主　訴　＜Ｂ＞ |
|  生年月日 学校・学年 （氏名の記載は不要です。） |  保護者 学校 |
| 家族構成・家族状況　＜Ｃ＞ | 生育歴・教育歴　＜Ｄ＞ |
|  ＊情報の収集については保護者了承を前提とする |  |
| 学校・学級のようす　＜Ｅ＞ | 学力（国語・算数・その他）＜Ｆ＞ |
|  |  |
| 前学期の評定（　年　学期；　段階）＜Ｇ＞ |
| 国語 | 算数 |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 行動・社会性　＜Ｈ＞ | 言語・コミュニケーション　＜Ｉ＞ |
|  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 諸検査結果（知能・認知特性・その他）＜Ｊ＞ | 運動・基本的生活習慣・その他　＜Ｋ＞ |
|  |  |
| 身体・医学面　＜Ｌ＞ | 興味・強い面・指導に利用できるものなど＜Ｍ＞ |
|  |  |
| 　指　導　仮　説　＜Ｎ＞ |
| 判　断　仮　説 | 支援と配慮 |
| *判断仮説（とその根拠）を記入する。* | ＜学級における支援＞＜通級指導教室等における支援＞＜家庭における支援＞*指導の仮説をそれぞれの場で実践する上での具体的な**内容やポイントを記入する。* |
| 指　導　の　仮　説 |
| *判断仮説を踏まえ、原則的な配慮事項や指導もポイント**を記入する。なお、「個別指導を行う。」等の指導形態では**なく、配慮内容を整理して記入する。* |

*※　否定的なエピソードだけではなく、肯定的なエピソードも記載する。（手立ての設定には不可欠。）*

*箇条書きで、具体的、端的に記入する。原則として「Ａ３」版１枚（「Ａ４」版２枚）以内。*

*Ｂ～Ｍの項目については、記述内容の多少を考えて、配置を変えてもよい。*